

令和5年度理科《第1学年》年間指導計画

理科 教科の目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

理科 第1学年の目標

- (1) 身近な植物についての観察、実験を通して、生物の調べ方の基礎を身に付けさせるとともに、植物の体のつくりと働きを理解させ、植物の種類やその生活についての認識を深める。
- (2) 身のまわりの物質についての観察、実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解させるとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付けさせる。
- (3) 身近な事物・事象についての観察、実験を通して、光や音の規則性、力の性質について理解させるとともに、これらの事象・現象を日常生活と関連付けて科学的にみる見方や考え方を養う。
- (4) 大地の活動の様子や身近な地形、地層、岩石などの観察、地震の観測記録などの分析を通し、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解させ、大地の変化についての認識を深める。

★ 口知は、自然事象についての知識・技能 口思は、科学的な思考・判断・表現、 態は、自然事象へ主体的に取り組む態度、

| 月 | 単元名 | 指導目標 | 指導内容 | 評価規準 | 評価資料 |
|---------|-----------------------------|--|--|---|---|
| 吉川 4 | ガイダンス | 理科学習について意欲を高める | 理科学習の意味・意義、理科室使用のルール確認 | 意欲的に取り組もうとする。 態 | |
| 5 | 単元1 生物の世界 <26時間> | いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 | 1章 身近な生物の観察 [4] 2章 植物のなかま [9] 3章 動物のなかま [8] 探究活動 [2] まとめ/ 単元末・読解力問題/ [2] | いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 知 | 授業への取り組み ・ワークシート点検 ・基礎テスト ・ノート点検 ・定期テスト |
| 6 | | | | 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。 恩 | |
| 7 | | | | いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 態 | |
| 9 | 単元2 物質のすがた <25時間> | 身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた及び状態変化、水溶液のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。 | 1章 いろいろな物質 [5] 2章 気体の発生と性質 [4] 3章 物質の状態変化 [6] 4章 水溶液 [5] 探究活動 [2] まとめ/ 単元末・読解力問題/ [2] | 身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。 知 | 授業への取り組み ・ワークシート点検 ・基礎テスト ・ノート点検 ・定期テスト |
| 10 | | | | 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などをを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだしして表現している。 恩 | |
| | | | | 身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 態 | 身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 態 |

| | | | | | | |
|----|--------------------------|--|---|---------------------|--|--|
| | | を総合的に見ことができるようになる。 | | | | |
| 11 | 単元3 身近な物理現象 (26時間) | 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現する。 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 | 1章 光の性質 [9] 2章 音の性質 [4] 3章 力のはたらき [7] 探究活動 [2] まとめ/ 単元末・読解力問題/ [2] | 知 思 態 | 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けています。 身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ・授業への取り組み ・ワークシート点検 ・基礎テスト ・ノート点検 ・定期テスト |
| 12 | | | | | | |
| 1 | | | | | | |
| 2 | 単元4 大地の変化 (27時間) | 大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などをを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現する。 大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 | 地形や地層、岩石の観察 [1] 1章 火山 [6] 2章 地震 [6] 3章 地層 [5] 4章 大地の変動 [4] 探究活動 [2] まとめ/ 単元末・読解力問題/ [2] | 知 思 態 | 大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けています。 大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などをを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。 大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ・授業への取り組み ・ワークシート点検 ・基礎テスト ・ノート点検 ・定期テスト |
| 3 | | | | | | |